

平成23年度 愛・地球博成果継承発展助成事業について

23 地 研 ED 第 03253 号
平成 23 年 3 月 31 日
財団法人地球産業文化研究所

平成23年度の愛・地球博成果継承発展助成事業として、次の12件が採択されましたのでお知らせします。

なお、平成24年度愛・地球博成果継承発展助成事業の募集については、年度内にも当財団のホームページ等においてお知らせする予定ですので、ご関心のある方はご留意下さい。

(単位:千円)

事業番号	団体名	区分	事業名称	事業内容	助成対象費用	決定助成限度額	採択理由
23-1-A	特定非営利活動法人 ドリーム・コンプレックス	A	「愛・地球博から麗水EXPOへ」日韓児童による環境教育事業	麗水博に向けて「海」をテーマとした日韓の子どもたちの絵画の募集、関連イベントの実施。	10,700	6,500	麗水博に向けて日韓の子どもたちの絵画を通じた各種事業が環境教育事業、国際交流事業として評価できること。
23-2-A	特定非営利活動法人 チルドレンズ・ミュージアム	A	子ども環境ミュージアム「Kibouに向かって！」	体育館等を活用した移動式のチルドレンズ・ミュージアムについて、環境教育プログラムの充実による環境ミュージアムの開催。	7,370	5,500	環境ミュージアム「Kibouに向かって！」が環境教育事業として評価できること。
23-4-A	特定非営利活動法人 愛・地球博ボランティアセンター	A	第3回Make a CHANGE Dayの開催	麗水博を視野に入れた日米韓国際ボランティアフォーラムの開催、日米韓連携での「第3回Make a CHANGE Day」開催等の各種ボランティア活動の実施。	8,752	7,000	環境との共生、環境問題の改善・解決等の活動を全国的に展開し、更には麗水博をも視野にいれた国際的に展開する事業として評価できること。
23-5-A	財団法人 森林文化協会	A	「森にふれ 森と生きる」くらし実践プログラム	森林、里山維持発展のために、グリーンウェイブ活動等各種事業の実施。	7,500	6,000	植樹活動、里山の保全活動等が自然と共生してきた知恵と文化の継承発展事業として評価できること。
23-6-A	特定非営利活動法人 アサザ基金	A	世界をつなぐいきものの道・風の道プロジェクト	都市部と過疎地・離島を、生きものの渡りを通して結ぶ新たな価値創造型の環境保全事業の実施。	8,296	6,637	新たな発想での都市と過疎地の連携による環境保全活動として評価できること。
23-8-A	愛知県公立大学 法人	A	生物文化多様性・国際交流プロジェクト:森と草原	2010年10月にCOP10を契機として開催された「せかい里フェスタ」の成果を継承すべく、「森と草原と文化」をテーマとする各種イベント、シンポジウム開催の実施。	6,850	5,480	環境保全事業、国際交流事業として評価できること。

事業番号	団体名	区分	事業名称	事業内容	助成対象費用	決定助成限度額	採択理由
23-9-B	特定非営利活動法人 国際教育情報交流協会(AEIIIC)	B	『地球環境』日印こどもの絵を通じた国際理解促進事業	COP11の開催予定国のインドと日本の教育関係者が連携し、日印の子供たちによる地球環境をテーマとする絵画の募集、展示会の開催、国際フォーラムの開催等の実施。	6,800	5,440	日印の子供達に環境への意識を認識させる環境教育事業、国際交流事業として評価できること。
23-10-B	公益社団法人日本環境教育フォーラム	B	アジア青少年環境リーダーネットワーク事業	長期的な視点で次世代環境リーダーを育てるアジア青少年環境リーダーネットワーク事業の実施。	8,125	6,500	アジア規模での次世代環境リーダーを育てる国際交流事業として評価できること。
23-11-B	財団法人 オイスカ	B	生物多様性保全及び復興活動推進のための国際会議	2010年10月開催のCOP10を契機とする国連生物多様性条約事務局との合意を踏まえ、2011年秋に各種国際機関と共同で「生物多様性保全及び復興活動推進のための国際会議」の開催。	7,272	5,817	COP10を踏まえての国際交流事業として評価できること。
23-12-B	「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム	B	ESDの10年・地球市民会議2011	「ESDの10年」の総括年となる2014年に向けて、国連大学等と共同による推進フォーラムの愛知県での開催等の事業の実施。	9,050	7,000	愛・地球博においても実践されたESD運動の発展をめざす国際交流事業として評価できること。
23-13-B	社団法人 アジア協会アジア友の会	B	アジア・ユースサミット・プログラム	アジア諸国から高校生を大阪に招聘し、合宿方式での「地球の未来に向かって一持続可能な地域を目指して」をテーマとするアジア・ユースサミットの開催。	8,738	6,991	環境を考える原点として自分の住む地域を見つめ直すためのアジア規模での国際交流事業として評価できること。
23-14-C	商工会議所法に基づく認可法人 輪島商工会議所	C	能登半島・輪島から発信する環境保全活動	輪島市中心地区での環境に優しい次世代交通の実証実験の実施等輪島発の新たな環境保全モデル事業の実施。	9,389	7,000	自然や環境に配慮した新たな社会システムの開発普及に寄与する実験事業として評価できること。

(注) 助成対象費用と決定助成限度額の百円以下は四捨五入により表示しています。

区分

A=愛・地球博記念事業を発展促進させる事業部門

B=国際交流を促進させる事業部門

C=「自然の叡智」を深化させる事業部門